

教育いちかわ

教育の共有化と5つのキーワード

1. 確かな学力を育成します
2. 豊かな人間性を育みます
3. ヘルシースクールを推進します
4. 安全・安心を確保します
5. コミュニティサポートを充実させます

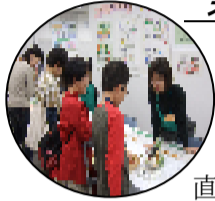
■発行 市川市教育委員会
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

■企画編集 市川市教育センター
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335
FAX 320-3352

「食」は生きること

第3回 健康都市連合国際大会開催記念 食育フェア

来場者は、1300人!



10月18日(土)、行徳文化ホールI&Iと第七中学校を会場にして、「食育フェア」が開催されました。

主催は、市川市(保健体育課・保健センター・農政課・臨海整備課)と市川市学校給食会。「ライフスタイルを見直そう」とのテーマに関するさまざまな展示・発表がありました。模擬せりやパソコン栄養相談などの体験コーナー、とれたて市川おいしいレシピ、おもしろ野菜紹介(野菜ソムリエと一緒に学ぼう)、市川市の食育の取り組み紹介など、どれも大変盛況でした。

記念講演「自然は命」



I&Iホール満員の熱気の中、タレント・エッセイストの高木美保さんの講演会がありました。

ユーモアたっぷりで切れ味鋭い本音トークに、時間を忘れて聞き入ってしまいました。「食は人生。食を通じて人と人、親子の絆も見通せる。」との言葉が大変印象的でした。

ヘルシースクール実践発表

I&Iホールでは、午前中、4校(南行徳小・市川小・信篤小・大柏小)のヘルシースクールの発表が行われました。どの学校も給食委員会などを中心に「しっかり食べること」、「食べることを考えること」についての取り組みを進めていました。

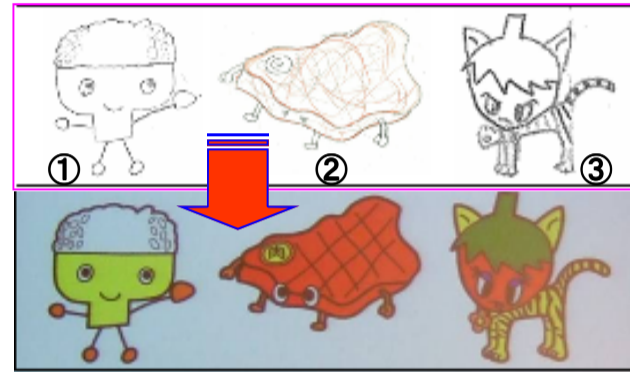


大柏小 給食・保健委員会による発表



キャラクターも登場!

信篤小では、全校児童に呼びかけて、ヘルシーマンのキャラクターを募集しました。そして誕生したのが下の3つのヘルシーマン。「食べもの」の重要な3つの要素をわかりやすく表したものです。



この3つのキャラクターが示す食べ物をバランスよくとることが健康につながるそうです。それぞれのキャラクターは、どんな愛称がつけられているのでしょうか?いずれも可愛らしい名前です。考えてみましょう!

信篤小のオリジナルキャラクター: ヘルシーマン
上: 児童の原画 下: 専門家がデザイン画にしたもの

※ 答えは4面下に掲載
【保健体育課】

今こそ、家庭教育の充実と発展を!

～ 第27回市川市家庭教育振興大会開催 10月30日～



表彰式

市内幼・小・中・特別支援学校の家庭教育学級運営委員151人が参加する中、3年以上にわたり家庭教育学級にご尽力いただいた学級長に「家庭教育学級功労賞」、9年以上にわたり熱心に学習された学級生に「家庭教育学級特別努力賞」が授与されました。



パネルディスカッション

後半は、「家庭教育の充実と発展について～家庭教育のあり方を考える～」というテーマでのパネルディスカッションが行われました。子育てに見識の深い3名のパネリストの方々からは、それぞれの専門的な立場から親子の関わり方や、子どもたちの現状などのご意見をいただき、活発な意見交換が展開されました。会場の参加者が共感したものは、「愛情」というキーワードでした。参加者一人ひとりが、改めて日々の親子の関わり方や家庭が持つ「教育力」の重要性に気づかされる内容となりました。

会の最後には、家庭教育学級の共同開催や土曜日開催事例などが紹介され、今後の各家庭教育学級の活動に一層弾みのつく、実りのあるものとなりました。【生涯学習振興課】

平成20年度

市川市教育功労者表彰式

11月14日



本年度は、8個人・1団体に五十嵐委員長より表彰状と記念品が授与されました。

教育功労賞は、多年にわたり学校教育、社会教育または文化の振興に優れた功績をあげられた方を表彰するものです。

さらに、団体としての活動についても、本市の教育に貢献されたことを称え表彰されました。

受賞者は、左記の方々です。受賞された皆様、おめでとうございます。

【教育政策課】

個人	松丸 ひろ子	市川市立菅野小学校 校長
	清田 眞澄	市川市立富貴島小学校 校長
	齋藤 純	市川市立第二中学校 校長
	井上 礼子	市川市立南行徳中学校 教諭
	栗原 生子	市川市立稲荷木小・大和田小・稲荷木幼稚園 学校医
	嶺脇 靖	市川市立宮久保小学校・下貝塚中学校 学校歯科医
	稲上 敏彦	市川市立福栄中学校 学校薬剤師
団体	山崎 秀雄	市川市水と緑の専門員 市川市緑と花の市民大学講師
	考古博物館火おこしボランティア	代表 中村 一郎

(敬称略)

市川市文化会館大ホール
10月30日(木)、31日(金)

市川市児童生徒音楽会

市川市こども作品展・新聞展

市川市文化会館展示室・大会議室
10月30日(木)～11月3日(月)



第六中管弦楽部の伴奏による全体合唱

市内全校の小・中・特別支援学校56校に通う児童・生徒4,075人が、合唱や吹奏楽・管弦楽などの演奏を披露し、入場者も2日間で2,400人を超えました。市川市にゆかりのある演奏家による招待演奏も行われ、毎年恒例である「ともだちはいいな」の全体合唱では、ホールが歌声でいっぱいになり、音楽の素晴らしさが実感できた音楽会となりました。【指導課】

昨年度を上回る、過去最高の10,616人が来場。児童生徒の作品は、子どもたちの夢や願いがこもった力作ばかりで、多くの方々に楽しんでいただくことができました。

子どもたちからの感想には、「みんな発想力が豊かで、見ていてとても楽しむことができました。(中学生)」などがありました。大人の方からも、「創造力豊かな作品が多く、夢がたくさんつまっている心を感じることができました。明るい未来が待っているようで楽しみです。」など多数の感想が寄せられました。【指導課】



見学者

1万人を突破!

シリーズ(2)
美しい日本語 探検隊が行く
 ふうが 風雅くん、さつき 草月ちゃん

今回は、俳句の取り組みを取材しました。



前号の「加賀美さん」の言葉にあったように、季節を感じる言葉を上手に使える人っていいわよね。たった17文字の中で季節を詠む「俳句」は、言葉をより輝かせて表現するのね。今回は、中国分小学校で「俳句」の世界について聞いてみるわ。



俳句に取り組んだのは、6年生。俳句の達人の指導を受けながら、それぞれが「心の風景」を表現しようと頑張っていたわ。

俳句づくりの心得とは・・・

- ◆対象をよく観察して、表現の工夫を！
- ◆作ったら声に出して読み、手直しをする！
- ◆読み手に想像を広げさせる表現を！

心の風景を表現しよう

では、中国分小学校のおともだちの作品を紹介します。作品を読み、「心の風景」を思い描いてみてくださいね。



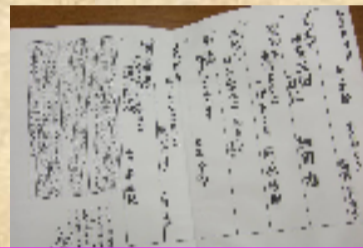
- ◇ ひまわりや私に笑顔ありがとう
- ◇ 梅雨晴れやにぎわいもどる運動場
- ◇ 海のような空を横切る翺雲
- ◇ 流れ星バットに当たったホームラン

季節感が伝わってくるような句ですね。僕も一句作ってみようかな。

☆ 夕暮れに V字群れゆく 渡り鳥

取材協力：中国分小学校 12月12日

[指導課・教育センター]



俳句集にまとめられた作品たち

第2回コミュニティサポート推進委員会報告

「地域の方がすすんで集まる学校を目指して」



参加者は、100名以上

不登校、非行、ネットいじめ、引きこもり、暴力・・・学校、家庭、地域の中で今起きているさまざまな課題を解決していくためには、学校と地域が協働しながら子どもたちを健やかに育てていくことのできる地域社会を作り上げていく必要があります。そのための具体策を探るべく、10月21日(火)第2回コミュニティサポート推進委員会を開催し、「学校と地域の協働のあり方」をテーマに、国立教育政策研究所の葉養正明先生にご講演いただきました。

講演では、「『子どものために』という使命感や義務感だけの連携は長続きしない。地域の人や、自分の好きなことをするために学校に集まることから始めれば、学校と地域が共にメリットを感じる良好な関係を創りあげることができる」という、学校と地域が協働していく上で根幹となる考え方を伺うことができました。また、「学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーターの存在が重要」との、各委員会の目指すべき方向も示唆していただきました。

講演会終了後、「現在の学校と地域との関係がより明確になり、今後の方向性を考える上での一助になった」「『地域の大人はみんな貴重な人材』という言葉に勇気を与えていただいた」という前向きな感想がたくさん聞かれました。

[地域教育課]

米っ人くらぶ歳時記

11月11日(土) KOMETTO CLUB

米っ人くらぶ収穫感謝祭開催

収穫したお米で、カレーライスとお餅を作りました。お餅は、もち米をせいろで蒸して餅つきをし、磯辺餅やきな粉餅、雑煮にしました。自分たちで作ったお米の味は格別！子どもたちの表情は満面の笑みに溢れ、心温まる秋の穏やかな一日でした。



KOMETTO CLUB KOMETTO

豆知識 「収穫感謝祭の起源」

1620年、アメリカに上陸したイギリスの清教徒たちは、異郷の地で厳しい冬を迎え、飢えと寒さに苦しみました。やがて春が来て、親しくなったインディアンから種をもらい農耕を教わりました。そしてはじめての秋、予想以上の豊かな収穫に教会や家庭で収穫感謝の礼拝をささげたのが起源です。

[地域教育課]

輝け未来のリーダーたち！

ジュニアリーダー講習会修了式



9月28日 東先生の妙技 みんな興奮！



10月26日 登山実習 高尾山にて



11月30日 グループ討議 ボランティアについて

9月28日(日) 「こんなに真剣に楽しくゲームの講習会を受けたのは初めて！」少年自然の家でジュニアリーダー講習会・ヤングカルチャースクール合同秋季研修が行われました。

テーマは「子どもたちを楽しませるレク・ゲーム指導 ～身につけておきたい遊び指導のテクニック～」講師はテレビやラジオ番組で活躍中の総合子どもの遊び情報研修室の東正樹先生。一人・二人の遊びから、道具を使った遊びまで、次から次へと繰り出されるゲームにみんな夢中！常に笑い声が絶えない素晴らしい研修になりました。

10月26日(日) 登山実習を実施。市川市体育指導員の遠藤博三先生をお迎えし、コンパスの使い方・地図の見方など、集団登山の基礎基本をしっかりと学習し、秋の高尾山をみんなで満喫しました。

11月30日(日) 最後の講義と修了式が行われ、市内の中学生40名・高校生6名が、将来リーダーとして活躍するという希望を胸に、巣立っていきました。以下、修了生の言葉を紹介します。

私がジュニアリーダー講習会に参加することになったきっかけは、小学校5年生の時のわんぱくセミナーに参加したことでした。その時は、ただ「おもしろそう」と思って入っただけでした。けれど、今まで5年間続けてきて、「楽しい」だけでなく、学校では学べないこと、人として大切なことや、なにげない事だけど大事な事がたくさんあることを学ぶことができました。

わんぱくセミナーでは、遊ぶことがメインだったけれど、ジュニアリーダー講習会では、少しずつ地域活動のことやリーダーとしてのことを学ぶことができ、自分にとってすごくためになることだったと思います。

私は、3年間、ジュニアリーダー講習会を続けてこられたことを誇りに思っています。それと同時にスタッフやリーダーのみなさんに本当に感謝しています。本当にありがとうございました。私は将来、先輩たちのような素敵なリーダーになりたいと思います。

[青少年育成課]

教育に夢を！

教育委員←→児童生徒の交流会

10月以降は5校で交流会が行われました。そこで印象に残った言葉や様子について掲載します。

須和田の丘支援学校:高等部(10/16)

「高等部」の各学年2名ずつが参加。ここを卒業して社会に巣立っていくために「努力していること」などについて、堂々と発表している姿がとても印象的でした。



柏井小(11/12)

3年生、クラス単位での交流会。1組では、ゲームで心と頭をほぐしてから、「柏井小のいいところ」をアピールしました。最後にリコーダーと歌のプレゼントがありました。



第五中(11/26)

生徒会の役員が3グループに分かれての交流会。自校を誇りに思う気持ちと、しっかりとした意見をもって夢を語る姿に、教育委員の先生方も驚き！でした。



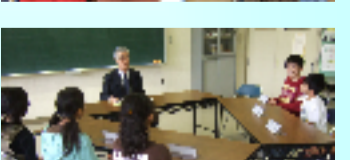
真間小(12/9)

5～6年生20人が2グループに分かれての交流会。「先生方や友だちが優しい」「自然があふれていて嬉しい」と学校生活でのよいところを語り合う時間になりました。



塩浜小(12/11)

5年生8名、6年生6名がそれぞれ分かれての交流会。学校生活の様子が切れ間なく語られる中、「これらの意見はどうなるの？」という鋭い意見が登場！教育委員の方々は、「全て持ち帰り丁寧に検討します」と約束しました。



[教育政策課]

平成20年度 全国学力・学習状況調査の市川市の分析結果

～ 小・中学校ともに「おおむね良好である」

あいさつができ読書好きである～

全国学力・学習状況調査が、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として平成20年4月22日に実施されました。

「教科に関する調査」は、国語のA・Bと算数・数学のA・B（A：主として「知識」に関する問題、B：主として「活用」に関する問題）について行われました。市川市の平均正答率を全国の結果と比較すると、小学校、中学校ともに、全国の平均正答率の上下5ポイント未満の範囲内にあり、昨年と同様に「おおむね良好である」という状況でした。特徴的な傾向事例として、次のようなことが読み取れました。(表1、表2参照)

【小学校】

国語A（表1）については、日頃の授業の中で、「資料から読み取ったことをもとに、自分の考えを書く学習」を行っていることにより、思考力がついたものと考えられます。

国語B（表1）の「情報を読み取って書く」という設問は、平成19年度調査の「文章を読み取って書く」という設問と同様に高い正答率でした。これは、市川市が長年にわたり、読書教育に取り組んできた成果が表れていると考えられます。

【中学校】

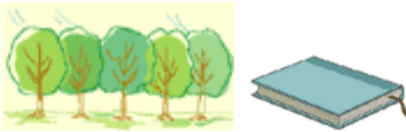
数学B（表1）の「与えられた情報を分類整理すること」が全国の平均正答率を5ポイント以上上回り「良好である」という結果でしたが、表2のような課題もあります。その対策として、国語では「例えば『いとをかし』という日本語が持つ豊かな表現などを意識した学習」、数学では「常に表、式、グラフを関連付けて一次関数を理解する学習」などを授業に取り入れてまいります。

表1 教科に関する調査結果「良好である」(全国の平均正答率を5ポイント以上上回る)

	区分	設問の概要	設問の内容
小学校 6年生	国語A	文章を推敲する	「6年生の一年間の目標」の作文の下書きを、読み返して、書き直した方がよいと思った理由等を選ぶ。
		分かったことをメモにとる	資料「言葉づかいで困っていること」から分かったことを、例文を基にして書く。
		段落の内容をとらえる	「ぼくのマンガ人生」を読んで、要旨をとらえる。
小学校 6年生	国語B	情報を読み取って書く	「図書館だより」のグラフから分かったことを基に、自分の考えを書く。
	算数A	乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係	●×1.2、●×0.7、●÷1.3、●÷0.8の4つの式の中で、答えが●より大きくなるものを選ぶ。
中学校 3年生	国語	該当箇所なし	
	数学B	与えられた情報を分類整理すること	パンフレット「富士山ぐるっとマップ」を見て、5つの湖の中から2つの湖を巡る組み合わせが何通りあるか選ぶ。

表2 教科に関する調査結果「良好ではない」(全国の平均正答率を5ポイント以上下回る)

	区分	設問の概要	設問の内容
小学校 6年生	国語	該当箇所なし	
	算数A	四則計算	2÷3の答えを分数で表す。
中学校 3年生	国語A	歴史的仮名遣い	歴史的仮名遣い「あたり」を現代仮名遣いに直す。
	数学A	点対称の図形の作図	図の中の一点を中心とした対称な図形を完成させる。
中学校 3年生	数学A	一次関数の式と表	xの値とyの値の関係を示した一次関数の表から式を求める。



児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境などを把握するための「質問紙調査」では、全国の結果と比較すると「近所の人に会ったときあいさつすることができる」「読書が好きである」などの割合が高く、一方で、基本的な生活習慣（睡眠時間の管理 [小学校] や翌日の学習の準備 [中学校] など）が身につけていない児童生徒の割合が高いなどの特徴が見られました。(表3参照)

また、「教科に関する調査」との相関関係では、「最後まで解答を書こうと努力できる児童生徒」などは正答率が高い傾向にあるということがわかりました。(表4参照)

平成19年度調査との比較では、家庭での学習時間は増加しています。しかし、学習意欲はやや低下している傾向が見られ、これは12月に国際教育到達度評価学会が発表した「国際数学・理科教育動向調査」の日本の児童生徒の結果と同様の傾向を示しています。

教育委員会では、平成19年度調査の結果を受け、10月27日に「学力アップ公開授業」を開催し、学力向上を目指した日常の授業の改善方を提案いたしました。今後ともこの調査の分析結果を踏まえ、指導方法及び教育施策の充実・改善を図ってまいります。

分析結果の詳細につきましては、下記のWebサイトに掲載しておりますのでご覧ください。
(欄外参照) [指導課]

表3 質問紙調査結果

	好ましい状況と判断できる項目	改善すべき状況と判断できる項目
小学校 6年生	・普段(月～金)や休みの日を問わず、学校以外で学習に取り組んでいる時間が長い。 ・朝食を毎日家族と一緒に食べている。 ・物事は最後までやり遂げている。	・寝起きの時間が遅い傾向が見られ、普段家族で夕食を食べる回数が少ない。 ・地域の行事への参加が少ない。 ・学校のきまりを守れない。
中学校 3年生	・普段(月～金)、早起きしている。 ・近所の人に会ったときあいさつすることができる。 ・「総合的な学習の時間」の勉強や読書が好きである。	・学校以外の学習の時間が少なく、学校へ持っていくものの準備ができない。 ・地域の行事への参加が少ない。 ・携帯電話で毎日通話やメールをしている割合が高い。

表4 「教科に関する調査」と「質問紙調査」との相関関係

	次のような児童生徒は正答率が高い傾向にある
小学校 6年生	・「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらの時刻に寝る」など生活習慣が身につけている児童。 ・「友達との約束を守る」「いじめはいけないことだ」などの規範意識が高い児童。 ・国語や算数の学習に前向きな姿勢で臨み、最後まで解答を書こうと努力できる児童。
中学校 3年生	・学校の規則を守る生徒。 ・学習に前向きな姿勢で臨み、最後まで解答を書こうと努力できる生徒。

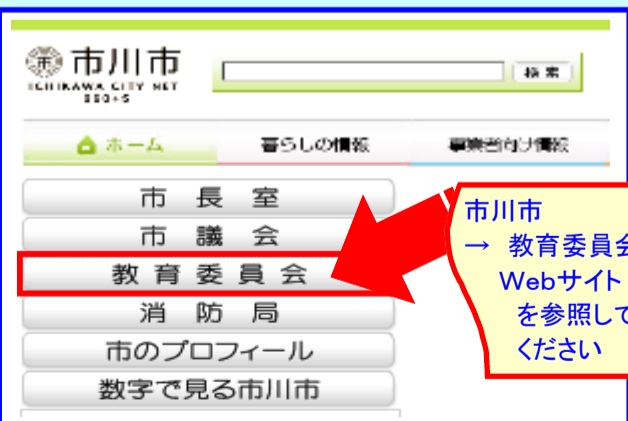
※ 表は、Webサイトに掲載している「平成20年度 全国学力・学習状況調査分析結果『市川市』」からの抜粋です。
※ 本調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

【市川市教育振興基本計画】 ご意見を募集します！

市川市教育委員会では「人をつなぐ未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念(案)として、平成21年度から5カ年間に取り組んでいく施策をまとめる作業を進めています。



臨時 市川市教育振興会議 議論に熱が入る



市川市教育振興会議の様子も掲載されています

このたび、その「市川市教育振興基本計画(案)」ができあがりまりましたので、案を皆さんにお知らせするとともに、広く意見を募集し、計画に反映させてまいります。

つきましては、以下の要領で「パブリックコメント」を実施しますので、ご意見をお寄せください。

- 計画案の閲覧場所 教育政策課、市政情報センター、市政情報コーナー（中央図書館、行徳図書館、大野公民館図書室、男女共同参画センター）及び、市のホームページ
- 対象 ・市内在住、在勤、在学の方
・市内に事務所や事業所を有する個人・法人・団体
- 募集期間 平成21年1月10日(土)～2月9日(月)
- 提出方法 意見用紙に、意見と住所・氏名(フリガナ)または団体名(代表者氏名も)を書き、教育政策課へ郵送、FAX(336-8029)、持参(市役所4階)のいずれかで。また、市のWebサイト「パブリックコメント」からも提出できます。 [教育政策課]

健やかにいきましょ 思いを継いだ車椅子

はじめは、大洲中2年生の女子生徒が生徒会の意見箱に入れた1枚の投書用紙でした。「市内の学校で、プルタブを集めて車椅子に換えて寄贈しているところがあると聞きます。そのような活動ができたらよいと思います。」この意見は、生徒会役員選挙で当選した「新役員」の話し合いの中で取り上げられ、「アルミ缶を集めて車椅子に」という活動がスタートしました。平成17年度の後期のことでした。

アルミ缶の回収は、さまざまな方法で行われました。生徒に呼びかけをして家から持参する、クリーン活動で拾う、リヤカーを出して地域の方々の家を回り回収に協力してもらうなどなど。

毎週のように「洗ってつぶす」という作業が繰り返されました。この活動は、生徒会役員だけでなく、多くの友人たちの協力で続けられてきました。



車椅子の贈呈式(大洲中学校)

そして、3年の月日が流れました。生徒会役員を引き継いだ後輩たちは、先輩の思いをつないで、ついに車椅子を購入し、寄贈することができました。

9月24日、大洲中学校の全校生徒が見守る中、ピカピカの車椅子が、社会福祉協議会常務理事の中台さんに贈呈されました。

意見箱に意見を入れた女子生徒は、現在は高校2年生になっています。このニュースを聞いて驚いたそうです。「アルミ缶を集めて車椅子に換えたいと願っていましたが、私たちだけでは全然足りない状態でした。でも、実際に実現したのですね。ビックリです。私たちの意志を継いでくれてありがとうございます。」と語っていました。



大洲中寄贈の車椅子にのる山根さん

市川市社会福祉協議会では、1年間に約800台の車椅子の貸し出しを行っています。今回寄贈された車椅子は、大洲地区にお住まいの山根さんに使っていただくことになりました。

山根さんは、88歳。元高校・大学で教鞭をとられていたそうです。いつもは杖を使って歩いていますが、遠出をする際に車椅子を利用するそうです。新しい車椅子に乗った感覚は、「頑丈で乗り心地が良い感じ」とのこと。この車椅子は、大洲中学校の生徒たちがアルミ缶を集めるなどして寄贈したものであるとお伝えすると、中学生にむけて、感謝の言葉を下さいました。

「本当にありがたいことです。長い間よく頑張ってくれました。このように福祉の面で力になってくれるのは嬉しいです。」

同様の取り組みは、市内の各小・中学校でも行われてきています。

新井小学校では、平成13年度から児童会の取り組みとしてプルタブを集めて、現金化したお金をもとに車椅子を購入し、これまでに7台の車椅子を社会福祉協議会に寄贈しています。近隣の自治会や小学校からの協力もあり、この活動が続けられているそうです。

行徳小学校では、プルタブを集めて得られたお金をユニセフに募金したり、車椅子を買って学校内の福祉教育に活用したりしています。



缶をつぶす作業(真間小学校)

富美浜小学校では、プルタブを集めて得られたお金を環境保護団体に寄付しています。

また、真間小学校では、環境美化委員会でアルミ缶を集めて、特別支援学校に車椅子2台を寄贈しました。

思いを継いだ車椅子から、たくさんの人たちの活動の様子が見えてきました。「誰かの力になりたい・・・」と願って活動している人が集まると、大きな成果が生まれるのだと感じました。

[教育センター]

JEC研修会

稲荷木幼・鬼高小・稲荷木小・第六中

11月18日(火)第六中学校ブロックにおいて、JEC研修会が行われました。

会場となった鬼高小学校は、全クラスが5時間目を公開にして、ブロックの教職員が、それぞれの授業を参観しました。

授業後、12の部会(以下参照)に分かれて話し合いが行われました。大きなテーマは、「義務教育9年間を見通した連携の在り方について」でした。各学校・園の現状を報告しあいながら、焦点を絞りつつ、「共通して取り組めること」について協議を重ねました。

生徒指導部会においては、子どもたちの人間関係が希薄になっている様子や、携帯電話が持つ負の側面の危険性などについて協議し、互いの共通理解を深める場になりました。

[12の部会] 教育課程・健康教育・特別支援・学力向上・幼/小連携・教育相談・学校図書館・生徒指導・学習ルール・不登校対策・経営・事務 [指導課]



学習ルール部会の話し合い

ネット安全教室

11月20日(木)、塩焼小学校の6年生が「ネット安全教室」に参加しました。この事業は、企業の地域貢献活動の一環として、県内の小学4年生～6年生を対象(クラス単位)に、平成19年度から実施しているものです。これまでに県内約40校で実施しているそうです。現在、パソコン等の利用にかかわるトラブルが多発し、児童生徒が事件・事故に巻き込まれることもあります。「ネット安全教室」では、ネットの上手な利用の仕方を「クイズ」を解きながら学ぶことができました。また、パソコン利用の「負の面」に気づく時間にもなりました。それでは、みなさんもクイズに挑戦してみましょう!



先生の問いかけに手をあげる児童

Q: 下の「〇〇」に入る言葉は何? 文章や絵をかいた人には、「〇〇権」という権利があります。(答えは2面下)

[教育センター]

特別支援学校・特別支援学級

合同学習発表会

市民会館 11月15日



- ①行徳小
- ②国分小
- ③若宮小

舞台の上立った子どもたちは、緊張しつつも精一杯に表現していました。華やかに飾られた衣装、丁寧に作られた小道具、大掛かりな背景なども素晴らしく、たくさんの方々に支えられたステージでした。

舞台と会場が一体となった心温まる発表会となりました。

[指導課・教育センター]



支援学級と特別支援学校の児童・生徒が劇や音楽などを発表しました。



- ④須和田の丘支援(小学部)
- ⑤第七中



自然博物館 自歴考 電話: 339-0477

◆ 自然講座(全4回) 八幡市民談話室

自然の話題を紹介する大人向けの講座です。18:00~20:00
1月31日(土)・2月7日(土)・2月14日(土)・2月21日(土)

◆ 散策会

季節ごとの風景を楽しみながら気軽に散策します。申し込みは不要。集合場所は、博物館にお問い合わせ下さい。天候不良の時は中止です。

2月8日(日)「春のきざし」長田谷津

3月8日(日)「遊水地の春さがし」大柏川第一調整池緑地